

令和2年度 小規模多機能型居宅介護 よりそいホーム 総括表

法人名	社会福祉法人 秋桜会	代表者	三島木 健	法人・ 事業所 の特徴	職員と利用者が「介護する側、される側」という関係ではなく、共に過ごす時間を大切にし、今「何に困っているのか」に着目して支援している。 小規模多機能型居宅介護のメリットが十分に活かすことができるよう一人ひとりの生活に合わせた柔軟なサービスを提供している。訪問で安否確認、配食、清掃等、必要な支援を見極めて援助している。
事業所名	よりそいホーム	管理者	筒井 慈子		

書面開催	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・ 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	0人	5人	0人	0人	人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・ 結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	・評価項目についての学習の機会を再度設け、理解を深める。特に新人職員には自己評価をゆとりをもって配布し、取り組んでもらう。	・外国人技能実習生は日本語の読解が十分できない部分があった。 ・新人職員には質問事項を聞き取りし、理解度を確認した。	・感染対策で大変だが全てのスタッフがしっかり取り組んでいる。 ・客観的に自分を評価することで事業所の改善につながると思う。 ・実習生には別に説明しながら回答してもらってはどうか。	・評価項目についての理解にバラつきがあるので、ポイントを絞った解説を全職員対象に行う。 ・技能実習生には日本語の内容をかみ砕いて説明を再度しながら、回答に取り組めるようにする。
B. 事業所の しつらえ・環境	・利用者の少ない日曜日を活用し、普段できない箇所の清掃を計画的に行う。 ・コロナ感染拡大予防の対策を引き続き行う。	・日曜日に普段不十分になりがちな場所の清掃を実施した。 ・多数が触れる共用部の消毒を1日4回、1～2時間ごとの換気、業者によるカーペットとエンコン清掃を実施した。	・コロナ禍で感染者を出すことなく、万全の対策を続けている。 ・スタッフの皆さんの取り組みに感謝している。	・感染拡大予防への対策を引き続き実施する。 ・空き時間を活用して、日頃の清掃を継続していく。
C. 事業所と地域 のかかわり	・地域の行事やイベントへの参加が難しい状況だが、つながりが切れないように配慮、対策、工夫を検討していく。	・コロナ禍で地域の行事やイベントの開催されず、参加、交流には至らなかった。 ・日々の挨拶を職員から行うなど、関係性の継続に努めた。	・関係各所や地域とのつながりを保つ努力は必要と思う。 ・定期的な挨拶周りは必要と思う。	・コロナが収束し規制緩和がなされた時は地域と協力して行事等を開催する。 ・地域の方には必ず挨拶をするなど今できることを行い信頼関係が築けるようにする。
D. 地域に向いて 本人の暮らしを 支える取組み	・外出が自粛中だが感染予防を徹底しつつ、ドライブ、散歩等で気分転換を図る。 ・イベント等が中止になり、地域交流が減る中でも、情報収集し地域への目配りをしていく。	・乗車人数を少人数にし、換気をしながら車中からの花見など気分転換を図った。 ・地域に向いた情報収集は直接的にはできていない。	・制約があり地域に向いての活動ができないのは仕方がない。 ・引き続き、感染対策を講じて外出などで気分転換をしてほしい。 ・敷地内の花壇の充実やウッドデッキの更なる活用に期待する。	・感染予防を徹底しながら、外出等の気分転換を行うとともに、ウッドデッキの活用を計る。 ・コロナが収束したあとを見据えて、新たな地域のニーズを把握していく。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は書面での開催になることも踏まえて、意見交換の方法を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書面開催であったが、独居の事例検討、防災訓練など毎回テーマを決めて報告できた。各委員からの客観的な意見や感想を次年度へ活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ毎に細かな報告があり、書面開催でも十分に取り組めた。 ・会議の場が参加者全員の顔が見える配置だと意見が活発にできると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集合式で実施の場合は密を回避しながら、活発な発言ができる形を検討する。 ・地域の情報収集を行うとともに、小林地区の地域資源の活用を検討していく。
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練は介護度の高い利用者の参加は健康管理上、難しい場合もあるが代役を立て、実際の避難を想定してより近い状況で実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護度の高い利用者の代役をスタッフが担い、実際の避難により近い状況で実施した。 ・外部の方の出入りが規制されており、地域住民や運営推進委員の避難訓練の参加、見学が実行できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な防災訓練や食料備蓄が実施されており、今後も継続してもらいたい。 ・コロナ等、感染症対策を踏まえた訓練を想定することが必要と思う。 ・停電、断水対策として自家発電機、雨水タンク等を検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが収束し規制緩和がなされた時は地域の方へ訓練の参加を呼びかけていく。 ・災害時の地域の避難場所としてできることがないか検討していく。